

## NPOきらきら発電認可

# 4月1日法務局届け出

3月26日(木)仙台市市民協同推進課よりNPOの認証が下り、4月1日(水)法務局で法人登記を行いました。9日には登記完了の予定です。NPO法人としての活動がこれで正式にスタートです。

## 井土浜発電所の工事は7月か？

太陽光パネル設置に対して宮城県の補助金制度があり(1人1200円の環境税を利用した制度)、その制度を活用すべく、4月中に申請をすることにしました。結果として太陽光設置工事は、県の補助金の対象となるかどうか確定した後となります。したがって早くても7月以降の工事着工となります。補助金は1割、井土浜の場合170万円となります。



## 映画上映会「シェーナウの想い」

この映画は、ドイツ南西部、黒い森の中にある小さなまちシェーナウ市の住民グループが、チェルノブイリ原発事故をきっかけに「自然エネルギー社会を子どもたちに」という想いから、ドイツ史上初の「市民の市民による市民のための」電力供給会社を誕生させるまでの軌跡を綴るドキュメンタリーです。2008年制作、上映時間60分。

5月20日(水)13時半、泉病院友の会ホールで

5月22日(金)17時半、長町よしの亭で

5月23日(土)13時半、長町よしの亭で

まだ時間など未確定ですが、上記の予定で、映画「シェーナウの想い」の上映会を、NPOきらきら発電が各団体と共同で行います。自分の住まいのお近くの会場に足をお運びください。

## 東北電力の連繫許可出る(柳生)

一月二十六日資源エネルギー庁の許可があり、若林区井土浜と太白区柳生の二カ所の太陽光発電について二月東北電力に連繫を願い出ていましたが、太白区柳生の許可が三月二十五日おりました。これで三十二円(消費税込み三四円五六銭)単価で二十年間東北電力に売電できることが確定しました。なお連繫工事は予定の四十万円を大きく下回り、ホッとしています。若林区井土浜の方は野立てなので、あとひと月ほどかかるとの話です。

## 宮城県の補助金説明会開かれる

三月四日宮城県庁で「事業所向け省エネ新エネ支援施策説明会」が開かれ、二百名以上が参加。省エネについては一億五千万円(一件五百万円の補助金)、新エネ(太陽光・風力・地熱・バイオマスなど)については補助率一割で一億円の予算を議会に提出していることを紹介。四月下旬に申請を受け、六月末には該当事業所を確定させるとのこと。きらきら発電でも、県の補助金を申請することにしました。

NPOきらきら発電・市民共同発電所

〒981-3215 仙台市泉区北中山 3-17-12

広幡方 電話・FAX 022-379-3777

メール=kirakirahatuden@outlook.jp

http://kirakirahatuden.com/

News 第6号

2015年4月5日(日)

# 自然エネルギー仙台シンポジウム

## みやぎ生協文化会館で飯田哲也氏が講演

3月24日午後仙台市泉区のみやぎ生協文化会館を会場に「自然エネルギーで豊かな日本を創ろう！アクション」仙台シンポジウムが開催されました。記念講演

は環境エネルギー政策研究所代表の飯田哲也氏。氏は京大原子核工学出身で「原子カムラ」に就職したものの、原子カムラの人々の安全神話に嫌気がさし、自然エネルギー普及活動に転身。「現在日本政府や東京都などのエネルギー政策に大きな影響力を与えている」と紹介される方。

「現在の日本は原発復権安倍大本営内閣によって原発再稼働の三本の矢『原子力損害賠償の打ち切り・廃炉費用を電気代に・原子力発電の電気買取制度導入』が示されているが、既に電気が足りないという議論は終わっている。東京電力を例に挙げれば、ピーク時消費電力が2010年6千万kwから2013年5千万kwに落ち、3年間で2割の省エネが進んでいる。今や省エネが節電発電所と呼ばれるほどの人気商品となっている。

しかも自然エネルギーは世界の流れとなっている。福島県2040年・長野県2050年自然エネルギー100%を目標にしているが、2014年世界の風力発電が世界の原発と同じ設備容量になった。そして自然エネルギー全体として、この10年間に原発の倍の発電量が新設された。結果自然エネルギーの買取価格は低下し、ドイツでは今や12円/kw単価となっている。日本の家庭用電気料金の平均価格の半分となっている。

にもかかわらず日本の電力会社は『接続可能量』というまやかしの方法論を展開。実は『接続可能量』は電力会社相互の融通制度をまったく無視した考え方で、日弁連も『今回の指定電気事業者制度の省令改正は上位法に違反の疑いが強く、行政訴訟で覆せる可能性がある』と指摘。

自然エネルギー100%の福島県が実現すると、1世帯年間25万円の光熱費(全体で約2千億円)が県内で生産され県内で消費されるという地域循環型社会が作られ、結果地方が豊かになる。『地産地所有』こそ、地方創生のカギである。」

以上のような講演でした。自然エネルギーに取り組む方々を勇気づける内容でした。



## 基金振込開始

4月1日NPO成立となりましたので、基金振込手続きを開始します。

既にお約束をされている方々には4月中旬～下旬に振込用紙をお届けします。5月中の振り込みをお願いします。また会費入金まだの方にも振込用紙をお送りします。

## きらきら発電市民共同発電所結成記念講演会

日時 4月18日(土)午後3時半～5時半  
場所 仙台市民活動サポートセンター4F(一番町4-1-3)  
講師 川岸卓哉氏(市民共同かわさき発電所代表・弁護士)  
演題 市民共同の力で自然エネルギー発電

2015年2月より通電開始したばかりの「市民共同かわさき発電所」。その代表をされている川岸卓哉弁護士を仙台にお招きし、神奈川県川崎市の取り組みを学ぶ講演会です。市民共同かわさき発電所はきらきら発電と同様、無利息の基金を集めて市民発電所を開設しました。講演会参加費は無料です。どうぞご参加ください。